

第60回人権擁護大会 プレシンポジウム

民主主義の危機に

立ち向かう

入場無料
予約不要

報道現場から語るメディアと知る権利

情報公開は、民主主義の基盤です。

現在の社会では十分な情報公開がなされているでしょうか。特定秘密保護法が施行された今、メディアが真実を報道できる社会状況でしょうか。

メディアには、そして私たちには、自由な言論が十分に保障されていますか。

2017年10月に大津市にて開催される日弁連人権擁護大会シンポジウム「情報は誰のもの？～監視社会と情報公開を考える～」に先立つプレシンポジウムとして、ニュース専門インターネット放送局を主宰し、現代の社会問題に鋭い発言を続ける講師をお招きし、メディアの現状とこれからの社会を展望します。

日時：2017年 9月11日(月)

18時開演(17時30分開場)

終了時間は20時頃を予定しています

場所：札幌エルプラザ 3階ホール

札幌市北区北8条西3丁目



講演

神保哲生氏

(じんぼうてつお氏・ビデオジャーナリスト、ビデオニュース・ドットコム代表)

1961年東京都生まれ。15歳で渡米。コロンビア大学ジャーナリズム大学院修士課程修了。AP通信など米国報道機関の記者を経て独立。99年、日本初のニュース専門インターネット放送局『ビデオニュース・ドットコム』を設立。主なテーマは地球環境、国際政治、メディア倫理など。著書に『ツバル—地球温暖化に沈む国』、『PC遠隔操作事件』など。

主催 札幌弁護士会

共催 日本弁護士連合会、北海道弁護士会連合会

お問い合わせ 札幌弁護士会 TEL 011-281-2428